**6月24日　（株）グライダーアソシエイツ　取締役COO　町野　健　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

貴重なお話ありがとうございました。CMも全国に流れている、まさに先端を生きている先生のお話からは、すごく充実感が感じ取れました。これまでの私は、ベンチャーの良さ・悪さ、大企業の良さ・悪さについてすごく考えてきました。たった3カ月ではありますが、現時点で自分なりの考えを持つことが出来るようになりました。ただ、今回の講義で、ベンチャーの方に傾いた話だったので、大企業のことについても多く聞きたかったです。（経営学部経営システム科学科1年）

振り返ると幸福なときは何か困難なことに立ち向かって乗り超えた時だと思う。他の人からはたいしたことなくとも自分にとって「乗り越えた」という実感があると幸福だと思う。（教育人間学部　人間文化学科　1年）

　まず私は、今回町野さんが示した７つの選択について今までにも何回か経験したことがあるなと感じました。特に初めに示された、人と同じになるか異なるかという選択は受験期において、高校時代の時に指定校推薦にするか、センター試験になる危険性がある公募推薦にするかとても迷いました。私以外のほとんどの人は、指定校で合格をもらう人ばかりで、実際は公募制に失敗してセンター試験で受験することになってしまいましたが、私は後悔していません。確かに、12～3月まで進路が決まっていなかったのは私を含めてクラスに2人しかおらず、精神的にはとても疲れてしまいました。しかし、今では学科は違えども第一志望の大学に入学することができているので満足です。次に、プライドを捨てるか守るという選択です。私は高校受験の際は、守るという選択をしてしまい、高校時代に何度も何度も後悔したことを覚えています。レベルの高い進学校を選ばずに、絶対に受かるようなところでずっとトップをとっていられること、という安定を選んでしまいました。これらのことを踏まえたうえで、大学3年生の時に必ず、大企業かベンチャーかの選択を誤ったら、後悔しか感じないと思います。しかし、一概に大企業はよくないということは言えないと思うので、自分に適した選択をしたいです。（経営学部・経営１年）

　今日の講義で印象的だったのは、20代が重要であるということです。それを端的に表していたのが「20代をどれだけ真剣に生きるかで40代が変わる」という言葉だと思います。町野さんが何度も言っていたように、20代は重要な選択がたくさんあると思うから一つ一つの選択に対して、悩みながらでも真剣に向き合って選択していこうと思った。また、その選択をする上で、問題を先延ばしにしないようにすることと、プライドを守ると現状維持しか出来ないので、プライドを捨ててでも自分がより成長できるための選択をチョイスすることを意識したい。もう一つ話題になっていたのがキュレーションについてで、今ちょうど自分もグループ思考システム論という講義でキュレーションについて学んで自分でも作っていたので、とても興味深かった。1分間で米国図書館6個分というのは驚きだったし、町野さんも言っていたが、そういった世の中になってきたのならキュレーションが伸びてきているのも納得だと思った。最後のほうに、ベンチャー企業を山登りにたとえていた話は、とても印象に残ったので心に留めておきたい。（経営学部国際経営学科　１年）

「成長」とは自分の未熟さを認識することによりできると知った。(経営,経営システム1年)

２０代の選択が４０代の自分を決めると行った内容のお話を聞きましたが、以前リーダーシップの他の方が行った講義においても今の選択が未来の自分を決めると行ったような事をおっしゃっていました。私たちよりたくさんの経験を積んできた方がみんな口を揃えて今の選択の重要性をおっしゃっているので、自分の選択の重要性をこれから意識していきたいなと思いました。またお話を聞いている限り私は今が楽しいと思っているのですが、３０代後半〜４０代になってくるとさらに楽しくなるという話でしたので、年を取る事を楽しみにしたいと思います。（経営学部　経営システム科学科　２年）

私が印象に残った言葉は最初の「幸福たらんと欲しなければ絶対に幸福になれぬ。幸福であることが他人に対しても義務である」という言葉です。私は今主体的に行動できず、「人と異なる」よりは「人と同じ」でいるのを好むタイプです。でも、最近、この授業を聴いて自分で動きたい、という気持ちが芽生え始めています。何かの誘いを待つのではなく、自分から目標のために動く、そんな気持ちを後押ししてくれる授業だったと思います。先生の「右脳」で読むというアイディアはすごく斬新だったと思います。私は、そのような何か今の日本の基盤みたいなものを破って悩んでいる若者を助けられるような企業を作る、あるいはそのように企業を変えていきたいと思います。（経営/国際経営1年）

時間に厳しい人間は自分に厳しい、自分に厳しい人間は周りからの信頼を得ることができる。（経営学部　会計・情報学科　1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

私は受け身で生きているという自覚がある。誘われれば遊ぶ、けど自分から誘うことはほとんどない。けど、楽しいことや面白いことに出会うためには自分から動かなくてはならない。自分から動いたほうが、そのようなことに出会う確率も高い。この様に気づいた今日から、積極的に行動していこうと思う。(教育.学教1年)

“建前を選んだ溝”という言葉に心が痛くなりました。この授業の初めよりは自分のしたいことはできていると感じていましたが、まだ自分に言い訳をして生きているなと感じました。求めるモノを“待つ”のではなく、“よじ登っていく”ことを行動に移していきたいと思います。　（経営学部　経営学科　１年）

　　今日の講義で１番強く感じたことは、「20代で何か問題が起きたときにいかに自分らしい選択をするか」ということです。私たちは、大学卒業時に大きな選択を迫られます。就職・進学・海外など。私は人に流されやすいので、自分の不向きはもちろん、あらゆることを理解したうえで決断の際に自分の意思で決められるように大学生のうちに訓練していきたいです。また、大学のうちに経験できることをすべて経験したいです。自分から主体的に動いて経験値を上げていきたいです。（経営学部・国際経営１年）

授業スタッフの感想１

　ベンチャーの良さは今までの経営者の方々のお話からもよく理解できてはいたのですが、今回町野さんのお話を聞いて、実際に大手の企業で勤めてからのベンチャーのお話を聞けて、ベンチャーの魅力がさらに知ることができて、新たな観点から自分の将来について考えていこうと思いました。まず何をするにしても「努力」が必要であると改めて痛感したので、今できることを一生懸命頑張りたいと思いました。スタッフを通じて、町野さんからお話を深く聞けて本当に良かったです。

授業スタッフの感想２

講義は素晴らしかったが、それ以上に座談会でのお話が本当にタメになって、この授業のスタッフになってよかったと改めて思った。相手が何を言ってほしいのかを考えて面接をする。まさにその通りで、それが言えれば合格するが、果たしてそれが自分の考えていることと違った場合、どうするのだろうと家に帰ってからふと不思議に思った。何事も空気を読んでばかりではいけない。遠慮してはいけない。やらない後悔よりも、やって後悔したいなと感じた。